

「令和4年度」

公開財務情報

- ①財産目録
- ②貸借対照表
- ③資金収支計算書
- ④活動区分資金収支計算書
- ⑤事業活動収支計算書
- ⑥事業報告書
- ⑦監査報告書

① 財産目録

(令和5年3月31日現在)

(単位：千円)

I. 資産総額	10,520,680千円
内 基本財産	6,203,227千円
運用財産	4,317,453千円
収益事業用財産	0千円
II. 負債総額	731,284千円
III. 正味財産	9,789,396千円

区分	金額
資産額	
1. 基本財産	
土地	34,459 m ² 1,000,588千円
建物	24,806 m ² 4,452,001千円
図書	26,993 冊 31,036千円
教具・校具・備品	8,199 点 472,243千円
その他	247,359千円
2. 運用財産	
現金預金	2,338,663千円
その他	1,978,790千円
3. 収益事業用財産	0千円
I. 資産総額	10,520,680千円
負債額	
1. 固定負債	
その他	359,889千円
2. 流動負債	
その他	371,395千円
II. 負債総額	731,284千円
III. 正味財産 (資産総額-負債総額)	9,789,396千円

② 貸借対照表

(令和5年3月31日)

(単位：千円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	8,131,557	8,331,920	△ 200,363
有形固定資産	6,203,227	6,466,170	△ 262,943
土地	1,000,588	995,960	4,628
建物	4,452,001	4,641,233	△ 189,232
その他の有形固定資産	750,638	828,977	△ 78,339
特定資産	709,886	640,783	69,103
その他の固定資産	1,218,443	1,224,967	△ 6,524
流動資産	2,389,123	1,959,172	429,951
現金預金	2,338,663	1,929,270	409,393
その他の流動資産	50,460	29,902	20,558
資産の部合計	10,520,680	10,291,092	229,588
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	359,889	340,786	19,103
その他の固定負債	359,889	340,786	19,103
流動負債	371,395	289,114	82,281
その他の流動負債	371,395	289,114	82,281
負債の部合計	731,284	629,900	101,384
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	10,198,321	10,104,857	93,464
第1号基本金	9,681,321	9,671,857	9,464
第2号基本金	350,000	300,000	50,000
第4号基本金	167,000	133,000	34,000
繰越収支差額	△ 408,925	△ 443,665	34,740
翌年度繰越収支差額	△ 408,925	△ 443,665	34,740
純資産の部合計	9,789,396	9,661,192	128,204
負債及び純資産の部合計	10,520,680	10,291,092	229,588

* 記載金額は単位未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

③ 資金収支計算書

令和4年4月1日から
令和5年3月31日まで

(単位：千円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	2,534,615	2,534,615	0
手数料収入	36,012	35,987	25
寄付金収入	0	0	0
補助金収入	287,990	287,745	245
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	1,000	1,100	△ 100
受取利息・配当金収入	16,000	16,426	△ 426
雑収入	42,202	42,174	28
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	135,600	135,600	0
その他の収入	582,876	582,526	350
資金収入調整勘定	△ 183,294	△ 183,294	0
前年度繰越支払資金	1,929,271	1,929,271	0
収入の部合計	5,382,272	5,382,150	122
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,477,123	1,476,481	642
教育研究経費支出	595,605	593,837	1,768
管理経費支出	345,647	342,677	2,970
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	19,500	19,379	121
設備関係支出	70,000	68,900	1,100
資産運用支出	69,103	69,103	0
その他の支出	597,513	598,111	△ 598
資金支出調整勘定	△ 125,092	△ 125,001	△ 91
翌年度繰越支払資金	2,332,873	2,338,663	△ 5,790
支出の部合計	5,382,272	5,382,150	122

* 記載金額は単位未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

④ 活動区分資金収支計算書

令和4年4月1日から

令和5年3月31日まで

(単位：千円)

		科 目	金 額	
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	2,534,615	
		手数料収入	35,987	
		経常費等補助金収入	287,745	
		付随事業収入	1,100	
		雑収入	42,174	
		教育活動資金収入計	2,901,621	
	支出	人件費支出	1,476,481	
		教育研究経費支出	593,837	
		管理経費支出	342,677	
		教育活動資金支出計	2,412,995	
		差引	488,626	
		調整勘定等	38,338	
		教育活動資金収支差額	526,964	
施設整備等活動による資金収支	科 目		金 額	
	収入	施設整備等活動資金収入計	0	
	支出	施設関係支出	19,379	
		設備関係支出	68,900	
		第2号基本金引当特定資産繰入支出	50,000	
		施設整備等活動資金支出計	138,279	
			差引	△ 138,279
			調整勘定等	3,892
		施設整備等活動資金収支差額	△ 134,387	
		小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	392,577	
その他の活動による資金収支	科 目		金 額	
	収入	受取利息・配当金収入	16,426	
		預り金受入収入	547,687	
		仮払金回収収入	21,663	
		その他の活動資金収入計	585,776	
	支出	退職給与引当特定資産繰入支出	19,103	
		預り金支払支出	529,451	
		仮払金支払支出	20,407	
その他の活動資金支出計		568,961		
		差引	16,815	
		その他の活動資金収支差額	16,815	
		支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	409,392	
		前年度繰越支払資金	1,929,271	
		翌年度繰越支払資金	2,338,663	

*記載金額は単位未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

⑤ 事業活動収支計算書

令和4年4月1日から

令和5年3月31日まで

(単位：千円)

		科 目	予 算	決 算	差 異	
		教育活動収入の部	事業活動収入の部	学生生徒納付金	2,534,615	2,534,615
	手数料		36,012	35,987	25	
	寄付金		0	0	0	
	経常費等補助金		287,990	287,745	245	
	付随事業収入		1,000	1,100	△ 100	
	雑収入		42,202	42,174	28	
	教育活動収入計		2,901,819	2,901,621	198	
教育活動支出の部	事業活動支出の部		科 目	予 算	決 算	差 異
			人件費	1,498,700	1,495,585	3,115
			教育研究経費	943,605	939,904	3,701
		管理経費	362,647	359,256	3,391	
		教育活動支出計	2,804,952	2,794,745	10,207	
	教育活動収支差額	96,867	106,876	△ 10,009		
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		受取利息・配当金	16,000	16,426	△ 426	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	
		教育活動外収入計	16,000	16,426	△ 426	
	教育活動外支出の部	借入金利息	0	0	0	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	
		教育活動外支出計	0	0	0	
	教育活動外収支差額	16,000	16,426	△ 426		
		経常収支差額	112,867	123,302	△ 10,435	
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		資産売却差額	0	0	0	
		その他の特別収入	4,902	4,902	0	
		特別収入計	4,902	4,902	0	
	特別支出の部	資産処分差額	0	0	0	
		その他の特別支出	0	0	0	
		特別支出計	0	0	0	
	特別収支差額	4,902	4,902	0		
		基本金組入前当年度収支差額	117,768	128,203	△ 10,435	
		基本金組入額合計	△ 139,500	△ 93,464	△ 46,036	
		当年度収支差額	△ 21,732	34,740	△ 56,472	
		前年度繰越収支差額	△ 443,665	△ 443,665	0	
		翌年度繰越収支差額	△ 465,396	△ 408,925	△ 56,471	

(参考)

事業活動収入計	2,922,720	2,922,949	△ 229
事業活動支出計	2,804,952	2,794,745	10,207

⑥事業報告書

1. 建学の精神

1. 建学の精神

「日本医療科学大学」は、「**報恩感謝**」を校是としています。

人は生まれながらにして、親、家族、社会から様々な恩恵を受けて、生かされています。例えば、今日食卓で口にするもの一つをとっても、見知らぬ多くの人々の手を経て私たちに届くのです。

こうした恩に報い、常に感謝する気持ちを持った有為な人材を育てることこそ、「日本医療科学大学」の崇高な理念であり、この建学の精神を具現した多くの医療人・研究者を輩出させたいと考えています。

2. 基本理念 ; 「愛情」「知性」「行動」

「**愛 情**」: 豊かな人間愛に満ちた人格形成

「**知 性**」: 広範な学術の研究練磨

「**行 動**」: 現代社会への貢献

2. 法人の概要

1. 学校法人の沿革

大正 7年	城西実務学校 設立
昭和 26年	学校法人城西学園へ組織変更
昭和 59年 4月	城西医療技術専門学校（診療放射線学科） 設立
平成 8年 4月	城西医療技術専門学校に理学療法学科 開設
平成 11年 4月	城西医療技術専門学校に作業療法学科 開設
平成 15年 8月	学校法人埼玉城西学園設立 城西医療技術専門学校（3学科）を移管
平成 18年 11月	学校法人城西医療学園に組織変更、日本医療科学大学設立認可
平成 19年 4月	日本医療科学大学 保健医療学部 診療放射線学科・リハビリテーション学科（理学療法学専攻・作業療法学専攻） 開設
平成 21年 3月	城西医療技術専門学校 閉校
平成 24年 4月	日本医療科学大学 看護学科・臨床工学科 開設
平成 31年 4月	診療放射線学科の収容定員を90名へ変更
令和 3年 4月	日本医療科学大学 臨床検査学科 開設

2. 設置する学校・課程・学科・入学定員・学生数の状況（令和5年5月1日現在）

学校名 (所在地)	学部・学科名等	開設 年度	入学 定員	収容 定員	在籍人員	
						女子
日本医療科学大学 (埼玉県入間郡毛呂山町)	保健医療学部	H19	410	1,640	1,669	816
	診療放射線学科	H19	90	360	442	205
	リハビリテーション学科	H19	120	480	479	179
	<理学療法学専攻>	<H19>	<80>	<320>	<351>	<122>
	<作業療法学専攻>	<H19>	<40>	<160>	<128>	<57>
	看護学科	H24	80	320	345	260
	臨床工学科	H24	40	160	169	49
	臨床検査学科	R3	80	320	234	123

3. 役員（令和5年5月1日現在）

9名；理事7名（うち、理事長1名）、監事2名

4. 教職員（令和5年5月1日現在）

学長	副学長	学部長	診療放射線学科	リハビリテーション学科		看護学科	臨床工学科	臨床検査学科	医療・基礎教育科	専任教員計※	事務職員	兼任教員計	総合計
				理学療法学専攻	作業療法学専攻								
1 (0)	1 (0)	1 (0)	11 (3)	12 (2)	9 (2)	21 (19)	9 (2)	12 (6)	8 (2)	83 (36)	54 (25)	175 (47)	312 (108)

※学長、副学長を除く 下段の（ ）は女性

5. 入学試験の概要

年度	診療放射線学科		リハビリテーション学科				看護学科		臨床工学科		臨床検査学科		合計	
	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
2023年度	572 (278)	119 (59)	233 (99)	86 (25)	88 (41)	24 (10)	224 (150)	86 (63)	190 (93)	35 (13)	303 (185)	75 (38)	1610 (846)	425 (208)
2022年度	555 (216)	108 (45)	220 (78)	86 (32)	93 (50)	26 (17)	228 (166)	95 (70)	180 (62)	50 (12)	338 (175)	87 (47)	1614 (747)	452 (223)
2021年度	613 (234)	110 (48)	279 (96)	91 (35)	120 (47)	30 (13)	255 (172)	86 (61)	281 (85)	42 (8)	387 (190)	92 (47)	1935 (824)	451 (212)
2020年度	605 (214)	103 (50)	386 (114)	91 (36)	172 (58)	44 (9)	284 (202)	92 (77)	271 (90)	44 (16)			1,718 (678)	374 (188)
2019年度	587 (219)	95 (38)	331 (102)	92 (27)	169 (66)	45 (20)	332 (227)	91 (72)	288 (107)	53 (19)			1,707 (721)	376 (176)
2018年度	549 (217)	84 (39)	258 (88)	82 (20)	115 (63)	37 (17)	273 (201)	86 (67)	266 (97)	49 (14)			1,461 (666)	338 (157)

下段の（ ）は女子学生

6. 令和4年度 卒業・就職等の状況（令和5年5月1日現在）

	4年次 在籍者数	卒業 生数	留年 者数	退学 者数	休学 者数	進学 者数	国家試験 合格者数	合格率 (%) <※>	平均合格率 新卒平均 (%)	合格者 就職者数	本学既卒 合格者数 [累計]	就職 希望者 就職率(%)
診療放射線 学科	103 (43)	81 (27)	19 (13)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	81 (27)	100 (100)	87.0 94.1	74 (25)	1 [68]	92.5
リハビリテーション 学科	129 (45)	94 (32)	29 (11)	6 (3)	0 (0)	0 (0)	92 (32)	98.5 (100)		92 (32)	10 [116]	100
理学療法 学 専攻	80 (21)	65 (17)	14 (4)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	63 (17)	96.9 (100)	87.4 94.9	63 (17)	2 [60]	100
作業療法 学 専攻	49 (24)	29 (15)	15 (7)	5 (2)	0 (0)	0 (0)	29 (15)	100 (100)	83.8 91.3	29 (15)	8 [56]	100
看護学科	94 (77)	93 (76)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	85 (70)	91.4 <100> (92.1)	90.8 95.5	84 (69)	0 [22] 受験者無	100
臨床工学科	50 (17)	41 (15)	8 (2)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	41 (15)	100 (100)	85.4 92.8	40 (15)	0 [9] 受験者無	97.6

下段の（ ）は女子学生。<※>看護学科合格率（上段；看護師、中段；保健師）

3. 令和4年度 事業の概要

1 教学部門強化に向けた取り組み

- (1) 令和4年度は、引き続きコロナ禍でのスタートとなったが、十分な措置を行い4月から対面での授業を中心に授業を行った。本学は国家試験について、早い段階から国家試験対策教材を使用した補講や模擬テストの実施、成績不振者に対する個別指導、夏季・春季等の長期休暇を含め休日における補講と自習、既卒生に対する特別クラスの編成、通常の補習授業など手厚い指導を継続して行ってきた。

その結果、診療放射線学科、作業療法学専攻、看護学科（保健師）、臨床工学科の4つの国家試験で見事100%合格を達成することができた。そのほか理学療法学専攻、看護学科（看護師）でも新卒の全国合格率を大きく上回る好成績を残すことができた。今年度もさらなる飛躍を目指し取り組んでいきたい。

- (2) 令和4年度入学式は新型コロナウイルス感染拡大防止策をとったうえで内容を縮小し行った。参加者は新入生と一部教職員のみとし、保護者の方向けにYouTubeによるライブ配信を実施した。新入生全員に対し実施する宿泊研修であるフレッシュマンセミナーは残念ながら、昨年度に引き続き安全性確保の観点から中止となり、総合型選抜入試・推薦入試合格者が対象の入学予定者に対し実施する入学前研修ウォーミングアップセミナーはオンラインで開催となった。その他学園祭や求人説明会、NIMSスポーツ大会、ハロウィンやクリスマスパーティーなどのイベントを実施することができた。

2 コロナ禍における本学の状況

令和4年度は第7波、8波が到来し、冬にはインフルエンザとのダブル流行が懸念される中、最大限の警戒をしつつ、学生、教職員の安全・安心を確保しながら、可能な限り学生が通常の学生生活を送れるように支援と対策を行った。感染者や濃厚接触者は発生したものの重篤な症状や、重い後遺症が残った学生、教職員は報告されず、その後復帰することができている。これは早い段階での職域接種の実施ができ、8割を超える学生の高いワクチンの接種率の成果であると考えられる。また、新藤学長主導のもと、白戸助教が発表した「大学職域接種におけるCOVID-19ワクチン3回目接種後にみられた症状についての調査」が2月に医学と生物学 Vol.163 第1号(2023)に掲載された。

3 学生募集

私立大学全体の志願者数が前年比 100%となり、前年並みであるが、志願者数はコロナの影響などから令和 3 年度入試で大幅に減少しており、コロナ以前の状況に戻っていない。学部系統においては文系の志願者が軒並み減少し、理系ではとりわけ工学系がとりわけ高い増加率となった。(河合塾)

難関校への「チャレンジ志向」が強まる一方、中堅校については推薦型・総合型で「早く確実に」決める傾向が見えた。本学においては、令和 4 年度は全学科で 1,610 名の志願者を獲得し 425 名の新生を迎えることができた。学科ごとの内訳としては、診療放射線学科 119 名(定員 90 名)、リハビリテーション学科理学療法学専攻 86 名(定員 80 名)、作業療法学専攻 24 名(定員 40 名)、看護学科は 86 名(定員 80 名)、臨床工学科は 35 名(定員 40 名)、臨床検査学科は 75 名(定員 80 名)と多くの新生を迎えることができた。全体では収容定員は満たしているものの、学生募集にさらに注力をして、次年度の募集活動を推進したい。

4 就職支援の充実

文部科学省と厚生労働省の発表によると、令和 4 年度の全国の大学生の就職内定率は 90.9% (前年同期比 1.2 ポイント上昇) となった。

本学においては就職率 100%を目指し、就職支援センターが中心となり、きめ細やかなサポートを行うことで対象学生については概ね就職が内定した。

具体的な施策は以下の通り。

- (1) 学生が就活最前線に挑む前段階で、将来より良い医療従事者となるための心構えや面接時の留意点などについて、外部講師招聘による解説、加えて模擬面接も行う就職セミナーを実施した。
- (2) 就職支援センターに常駐の職員を配置し、求人票の閲覧や就職相談や履歴書の書き方の相談等も日常的に行った。更には全国の医療施設に対する個別の訪問を行う職員及び八口一ワークからの派遣職員を置き、情報の円滑な開示を行った。

- (3) 令和 4 年度の求人数は以下の通りであった。

診療放射線学科	求人施設数	577 施設	求人数	951 人
理学療法学専攻	"	1,126 施設	"	3,998 人
作業療法学専攻	"	1,127 施設	"	3,257 人
看護学科	"	620 施設	"	11,667 人
臨床工学科	"	450 施設	"	687 人

(4) 主な就職先は以下のとおりである。

①診療放射線学科 (65 施設)

都道府県	内定先	都道府県	内定先
埼玉県	伊奈病院	東京都	日本医科大学付属病院
	浦和医師会メディカルセンター		日本医科大学多摩永山病院
	大宮中央総合病院		日本大学医学部附属板橋病院
	春日部中央総合病院		明理会中央総合病院
	上福岡総合病院	千葉県	新松戸中央総合病院
	圏央所沢病院		亀田メディカルセンター
	康正会病院		キッコーマン総合病院
	埼玉医科大学病院		千葉愛友会記念病院
	埼玉医科大学国際医療センター		千葉西総合病院
	埼玉石心会病院		新東京病院
	彩の国東大宮メディカルセンター		東邦大学医療センター佐倉病院
	坂戸中央病院		神奈川県
	西部総合病院	菊名記念病院	
	行田総合病院	相模野病院	
	獨協医科大学埼玉医療センター	湘南記念病院	
	戸田中央総合病院	昭和大学横浜市北部病院	
	新座志木中央総合病院	総合健診センターヘルチェック	
	新座病院	東戸塚記念病院	
東川口病院	平塚共済病院		
東京都	青山会	静岡県	静岡県立静岡がんセンター
	板橋中央総合病院		富士病院
	イムス葛飾ハートセンター	茨城県	筑波メディカルセンター
	イムス東京葛飾総合病院	栃木県	済生会宇都宮病院
	稲葉脊椎・関節病院		自治医科大学附属病院
	上板橋病院	山梨県	甲府城南病院
	昭和大学病院		笛吹中央病院
	新山手病院	長野県	北アルプス医療センターあづみ病院
	東京女子医科大学病院		昭和伊南総合病院
	東京都立大塚病院	岐阜県	岐阜健康管理センター
	東京都立多摩総合医療センター	福島県	福島県労働保健センター
	東京都立東部地域病院	岩手県	岩手医科大学附属病院
	東京都立豊島病院	山形県	新庄徳洲会病院
	東京西徳洲会病院		

②リハビリテーション学科 理学療法学専攻 (52 施設)

都道府県	内定先	都道府県	内定先
埼玉県	上尾中央第二病院	東京都	蒲田リハビリテーション病院
	イムス富士見総合病院		五反田リハビリテーション病院
	霞ヶ関南病院		竹川病院
	行田総合病院		竹の塚脳神経リハビリテーション病院
	圏央所沢病院		多摩北整形外科病院
	埼玉慈恵病院		東京品川病院
	埼玉石心会病院		日本大学医学部附属板橋病院
	TMG あさか医療センター		練馬駅リハビリテーション病院
	TMG 宗岡中央病院		原宿リハビリテーション病院
	所沢あかだ整形外科		山手クリニック
	所沢第一病院	千葉県	旭神経内科リハビリテーション病院
	羽生総合病院		鎌ヶ谷総合病院
	原田病院		亀田メディカルセンター
	飯能靖和病院		季美の森リハビリテーション病院
	富家病院		千葉きぼーるクリニック
	鳳永病院	神奈川県	新百合ヶ丘総合病院
	益子病院		横浜市立大学附属市民総合医療センター
	丸木記念福祉メディカルセンター	静岡県	浜松南病院
	明生リハビリテーション病院		かみもとスポーツクリニック
	吉川中央総合病院		塩原温泉病院
若葉病院	はせがわ整形外科クリニック		
和光リハビリテーション病院	那須脳神経外科病院		
【老健】TMG	栃木県	リハビリテーション花の舎病院	
【老健】富士見の里	群馬県	角田病院	
東京都	イムス板橋リハビリテーション病院	山口県	宇部市役所
	永生病院	東京都	島村楽器株式会社

③リハビリテーション学科 作業療法学専攻（13 施設）

都道府県	内定先	都道府県	内定先
埼玉県	旭ヶ丘病院(奨学金)	東京都	児童発達支援イタス坂戸教室
	イムス富士見総合病院		赤羽リハビリテーション病院
	霞ヶ関南病院		慈誠会成増病院
	熊谷総合病院		下総精神医療センター
	埼玉医科大学総合医療センター		新山手病院
	さいたま市総合療育センターひまわり学園		総合東京病院
	埼玉よりい病院		東京海道病院
	彩北病院		東京都リハビリテーション病院
	狭山中央病院		ねりま健育会病院
	羽生総合病院		原宿リハビリテーション病院
	原田病院		平成扇病院
	富家病院		神奈川県
	丸木記念福祉メディカルセンター	千葉県	キッコーマン総合病院
リハビリテーション天草病院	長野県	丸子中央病院	

④看護学科（63 施設）

都道府県	内定先	都道府県	内定先
埼玉県	上尾中央総合病院	埼玉県	TMG あさか医療センター
	イムス富士見総合病院(奨学金)		防衛医科大学校病院
	川口市立医療センター		みさと健和病院(奨学金)
	関越病院		武蔵台病院
	北里大学メディカルセンター		八潮中央総合病院
	行田総合病院		【保健師】狭山市保健所
	熊谷総合病院(奨学金)		東京都
	埼玉県立循環器・呼吸器病センター	イムス東京葛飾総合病院(奨学金)	
	埼玉県立小児医療センター	青梅市立総合病院	
	埼玉石心会病院	杏林大学医学部付属病院	
	埼玉医科大学病院	健康長寿医療センター	
	埼玉医科大学病院国際医療センター	健和会	
	埼玉医科大学病院グループ	国立成育医療研究センター	
	指扇病院	国立精神・神経医療研究センター	
	自治医科大学附属さいたま医療センター	湘南美容クリニック	
	新久喜総合病院	昭和大学病院	
	戸田中央総合病院	昭和大学江東豊洲病院	

(つづき)

都道府県	内定先	都道府県	内定先
東京都	新山手病院	千葉県	小張総合病院(奨学金)
	立川病院	神奈川県	川崎市立多摩病院
	東京医科大学八王子医療センター		座間総合病院
	東京医療センター		聖マリアンナ医科大学病院
	東京共済病院		日本医科大学武蔵小杉病院
	東京慈恵会医科大学附属病院		横浜南共済病院
	東京品川病院		群馬県
	東京逋信病院	長野県	相澤病院
	東京都立小児総合医療センター		浅間南麓こもろ医療センター
	西八王子病院(奨学金)		長野市民病院
	日産厚生会玉川病院		長野県立こども病院
	日本大学医学部附属板橋病院	宮城県	東北公済病院
	明理会中央総合病院		東北大学病院
	千葉県	亀田メディカルセンター	佐賀県
君津中央病院			

⑤臨床工学科（36 施設）

都道府県	内定先	都道府県	内定先
埼玉県	上尾中央総合病院	埼玉県	三郷中央総合病院
	上尾中央総合病院附属エイトナインクリニック	東京都	イムス葛飾ハートセンター
	伊奈病院		イムス東京葛飾総合病院
	イムス三芳総合病院		葛西昌医会病院
	くぼじまクリニック		東京医科歯科大学病院
	熊谷総合病院		三鷹腎クリニック
	埼玉セントラル病院		明理会中央総合病院
	彩の国東大宮メディカルセンター		千葉県
	TMG あさか医療センター	成田赤十字病院	
	TMG サテライトクリニック朝霞台	神奈川県	新百合ヶ丘総合病院
	所沢明生病院		善仁会
	戸田中央総合病院	群馬県	せせらぎ病院
	新座志木中央総合病院	茨城県	筑波記念病院
	西大宮腎クリニック	栃木県	獨協医科大学病院
	蓮田一心会病院	山梨県	市立甲府病院
	東川口病院		山梨県立中央病院
	東松山市立市民病院	福島県	太田総合病院
	東鷲宮病院	北海道	函館五稜郭病院

5 学生支援の継続

コロナ禍において様々な制限があるなか、少しずつではあるができることを増やして学生への支援を行った。4月にはサークル紹介とともに芋煮会を行い約300食が配られ、行列ができるほどの大盛況であった。9月には原材料の高騰から様々なものの値上げが続く中、学生への負担を軽減するため食堂およびカフェのメニューの一部メニューの価格値下げを行った。そのほか年末には食料品や日用品を無料で配布した。学生からは多くの喜びの声があがっており、これまでコロナの影響で行えなかった、学園祭やスポーツ、ハロウィンやクリスマスなどのイベントを行うことができた。

6 施設・設備の拡充及び補修

学生満足度向上のために開学以来、計画的に教育施設の拡充を実行してきた。

本年度は3号棟および4号棟入口に新たに自動ドアを設置した。また、学園長より「もっと学生が、日本医療科学大学(NIMS)に居たいと思ってもらえるような居場所づくりを！」とのご提案のもとプロジェクトが発足し、1号棟1階および4号棟1階の改装を行った。

3号棟 自動ドア

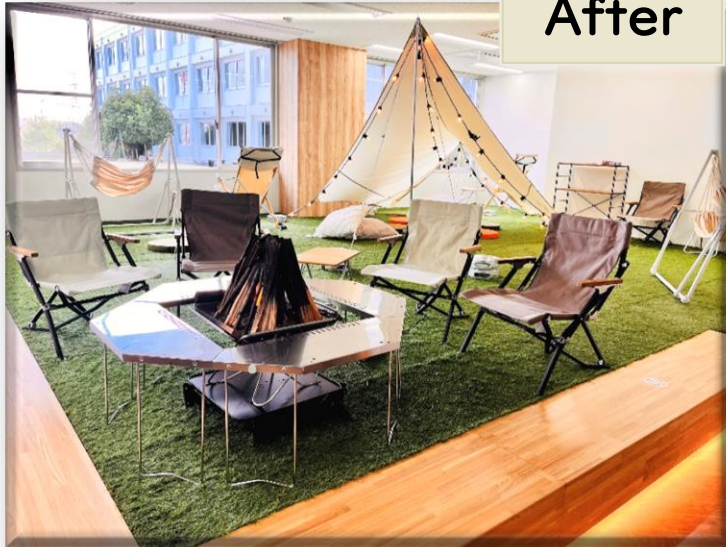


4号棟 自動ドア



もっと/ NIMS が好きになる!プロジェクト

Relax Area TAKIBI (1号棟1階)



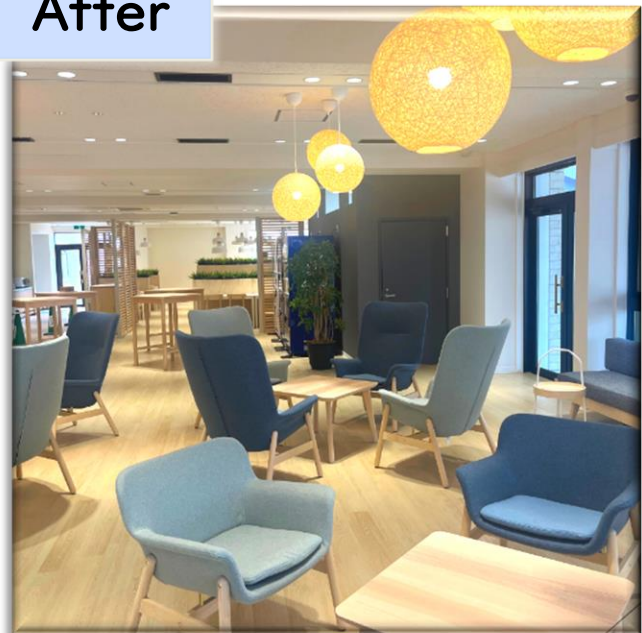
授業や実習の合間にリフレッシュできるような
“リラクセスエリア”をコンセプトにしました。

NIMS Lounge まほろば (4号棟1階)

Before



After



“1人でも利用しやすいおちついた空間”
をコンセプトにしました。

7 教育研究備品の購入

診療放射線学科



BLSトレーニングファントム

実践的で効果的な成人CPR(心肺蘇生法)の練習ができ、成人CPRでの正しい圧迫部位と圧迫の強さを学ぶ事ができる

理学療法学専攻

低周波治療器・干渉電流型低周波治療器 組合せ理学療法機器

低周波治療モードに加え、パルス、干渉低周波治療など多彩な治療モードに対応。症状や治療部位に応じた各種低周波治療を1台でできる



超音波画像診断装置



「高画質モバイル超音波画像診断装置」で、あらゆるフィールドでより正確な超音波検査を行う事ができる

高性能エアーマットレス

(体圧分散式エアーマットレス床ずれ防止用具)

エアーマットレス内の足元に搭載されたファンモーターが24時間、皮膚局所の温度と湿度の状態をより快適に保つことができる



万能型看護実習モデル

胸腹部の視診・触診・打診等卒前教育から病院での実践レベルまで看護技術習得のために活用できる



バイタルサインベビー

新生児のバイタルサイン測定と全身観察が行え、泣き声機能により、心音・呼吸音の確認を臨床現場に近い状態で測定・観察する応用演習が行える





内視鏡シミュレータ

内視鏡の治療機器学実習用。処置具を用いたシミュレーショントレーニングが可能

細胞培養・組織培養用倒立顕微鏡

倒立顕微鏡は、対物レンズがサンプルを載せるステージの下にあり、サンプルを下から観察する顕微鏡



骨格モデル

人体全身骨格モデルは、医療現場でのインフォームドコンセントや、スポーツ指導、工学系の研究室での参考資料として使用される

8 教育改革に係る予算及び実績

(1) 学長特別研究費 実績

令和4年度の学長特別研究費で実施した研究は下記項目。

2022(令和4)年度 学長特別研究費実績			※()内は研究期間	
	研究者	研究テーマ	予算額	実支出累計額
1	臨床工学科 中尾 教伸 教授 (2022-24)	透析患者における血圧関連合併症の発症要因に関する疫学的研究	¥1,980,000	¥1,320,000
2	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 西田 典史 教授 (2022-23)	ケアランボリンの跳躍動作における筋電図研究	¥2,707,000	¥100,000
3	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 西田 典史 教授 (2020-22)	大学生のスマートフォン活用と学習課題遂行モデルの構築に関する研究	¥703,763	¥580,982
4	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 小林 毅 教授 (2022-23)	乳がん当事者のQOLにおける経時的要因および予測可能性の検討	¥2,567,000	¥2,004,742
5	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 荻山 泰地 准教授 (2019-2022)	移動(歩行・車いす操作)時における視線移動パターン、眼球運動に関する研究	¥92,590	¥92,590
6	看護学科 古村 ゆかり 准教授 (2021-22)	病院における障害者雇用の実態および身体障害を持つ医療職の 就労継続のための合理的配慮の方法の認識と実施状況についての調査研究	¥1,742,560	¥800,475
7	看護学科 高野 直美 講師 (2021-22)	新型コロナウイルス感染症による大学生の生活の影響と健康教育の効果	¥2,310,071	¥1,600,018
8	看護学科 川込 あゆみ 講師 (2022-23)	地域交流の種類と認知症の人への理解や尊厳の相違の関連；日本老年学的評 価研究(JAGES2019)による横断研究とM町の地域交流における認知症の社会 的包摂に関わる質的研究	¥647,390	¥626,040
9	医療・基礎教育科 白戸 亮吉 助教 (2022-23)	予防医療のための正確な情報の取得・評価および健康・予防行動を促す効果的な 情報提供方法の検討	¥1,200,000	¥1,056,565

令和5年度の学長特別研究費新規採択研究は下記項目。

2023(令和5)年度 学長特別研究費新規採択

	研究者	研究テーマ	予算額
1	診療放射線学科 佐藤 洋 教授 (2023)	放射線治療における「MU値検証ソフト」を使用した学習効果について	¥996,000
2	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 徳永 千尋 教授 (2023)	新時代の医療科学—人々の健康と未来を守るために—医療科学を学ぶ学生の課 題解決に導くデータ収集と分析—	¥1,800,000
3	看護学科 小澤 美和 教授 (2023-24)	全国の高齢者施設における看護師と介護士の看取りケア教育プログラムの構築	¥1,467,350
4	臨床検査学科 関 貴行 教授 (2023-24)	疾患モデルラットを用いた炎症性腸疾患の発症および腸管収縮機能障害メカニズム の解明	¥1,200,000
5	臨床工学科 大矢 哲也 准教授 (2023-24)	視線入力による微動補正処理を用いた入力方式の提案	¥1,289,980
6	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 稲垣 郁哉 助教 (2023-24)	理学療法士養成校の学生におけるキャリア意識の実態調査	¥1,241,000
7	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 山口 和人 助教 (2023)	医療系大学生の学業成績に与える動機づけ、職業的アイデンティティ、メタ認知の 影響	¥1,286,300
		合計	¥9,280,630

(2) 科学研究費助成事業（科研費）実績

令和4年度の科研費で実施した研究は下記項目。

2022(令和4)年度 科学研究費助成事業実績				※()内は研究期間
	研究者	補助事業者区分	研究種目	令和4年度請求額
1	看護学科 小坂 恵美 教授 (2019-22)	代表者	若手研究	¥400,000
2	看護学科 末永 弥生 教授 (2021-23)	代表者	基盤研究C (一般)	¥700,000
3	医療・基礎教育科 小川 由香里 准教授 (2020-22)	代表者	若手研究	¥1,000,000
4	臨床検査学科 山口 航 准教授 (2021-24)	代表者	基盤研究C	¥700,000
5	看護学科 高野 直美 講師 (2020-22)	代表者	基盤研究C	¥500,000
6	看護学科 小山田 路子 講師 (2022-24)	代表者	基盤研究C (一般)	¥2,100,000
7	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 山口 和人 助教 (2022-24)	代表者	若手研究	¥2,700,000
8	看護学科 藤澤 博子 講師 (2019-22)	代表者	基盤研究C (一般)	※延長申請の為 ¥0
9	診療放射線学科 藤井 義大 助教 (2018-22)	代表者	若手研究	※延長申請の為 ¥0
10	臨床検査学科 菅原 佳奈子 助教 (2021-23)	代表者	基盤研究C	¥700,000
11	臨床工学科 石田 等 教授 (2022-24)	分担者	基盤研究C	¥100,000
12	看護学科 平田 礼子 教授 (2022-24)	分担者	基盤研究C	¥100,000
13	臨床工学科 大矢 哲也 准教授 (2020-22)	分担者	基盤研究C	¥200,000
14	医療・基礎教育科 天野 修司 准教授 (2019-22)	分担者	基盤研究A	¥450,000
15	臨床検査学科 渡邊 晃広 准教授 (2021-24)	分担者	基盤研究B	¥170,000
16	看護学科 小山田 路子 講師 (2021-22)	分担者	基盤研究C (一般)	¥30,000
17	看護学科 藤澤 博子 講師 (2020-22)	分担者	基盤研究C (一般)	¥15,000
18	看護学科 吉江 由美子 講師 (2020-22)	分担者	基盤研究C (一般)	¥100,000

9 研究部門の充実

研究活動として紀要委員会より「日本医療科学大学研究紀要」第 15 号が発行された。また、科学研究費補助金の応募は 4 件（教授 1 名、准教授 1 名、講師 1 名、助教 1 名）であった。

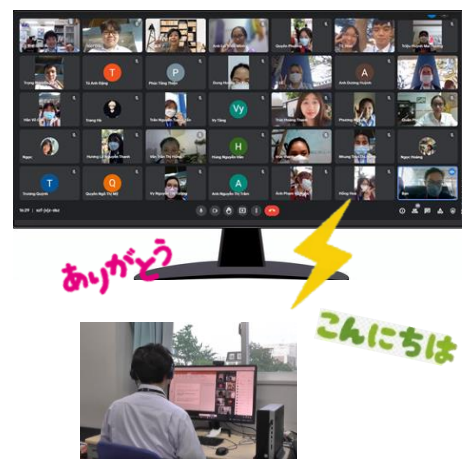
10 国際交流研究センターの活動

国際交流研究センターの主導により、本学の教育目標の一つである「国際化社会に対応する医療従事者の養成」を目的とした海外研修（NIMS サマープログラム）も 12 年目を迎えることとなったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため本年度も中止とした。2022 年度（令和 4 年度）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため学内での活動のみ実施した。令和 2、3 年度の活動を基にオンライン交流会及び対面での活動を実施した。具体的な活動内容は以下の通り。

天野准教授によるオンライン日本語講座

実施日：令和 4 年 5 月 6 日

協定校であるベトナム・ドンナイ技術大学の学生 33 名を対象に、天野准教授がオンライン日本語講座を実施した。学生は日本語の発音や自己紹介の表現を学んだあと実際に一人ずつ自己紹介を行い、最後には指を使ったミニゲームを楽しんだ。



Basic Skills for giving Highly Effective Presentation

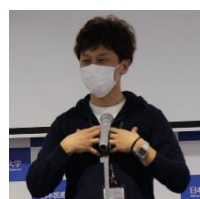
実施日：教職員対象 令和 4 年 5 月 27 日、6 月 3 日、6 月 10 日

学生対象 令和 4 年 6 月 17 日、6 月 24 日、7 月 1 日

TESOL（英語教授法）の資格を持つ米国出身のネイティブ講師による英語プレゼンスキル講座全 3 回を教職員向け、学生向けにそれぞれ実施した。教職員は 3 日間で延べ 18 名、学生は延べ 17 名が参加し、自信を表すジェスチャーや飽きさせないスピーチのポイント等を英語で学んだ。



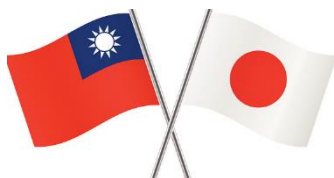
SPEECH



台湾看護国際学会

実施日：令和4年6月18日

協定を結んでいる台湾の中台科技大学看護学科からご招待いただき、本学看護学科教員2名がオンラインで学会に参加し、コロナ禍における本学の看護教育について発表した。



新藤国際交流研究センター長による講演会

実施日：令和4年6月29日

実践英語の授業内で、新藤洋子国際交流研究センター長がゲストスピーカーとして、海外での経験や本学の国際交流活動について講演を行った。

また、英会話のワンポイント講座やアメリカと日本の医療の違いなどについても紹介をした。



Pink Phoenix メンバーとのオンライン交流会

実施日：令和4年10月24日

天野准教授および医療英語履修者（看護学科1年生）と米国オレゴン州ポートランドの乳がんサバイバーで結成されたドラゴンボートチーム、Pink Phoenix（ピンクフェニックス）のメンバー4名とメンバーの1人を担当している癌専門医1名がZoomで交流をした。メンバーの方々には乳がん発症からPink Phoenix参加に至るまでの経緯や、参加後の身体的・心理的变化について話していただいた。



協定校中台科技大学（台湾）とのオンライン交流会

実施日：令和4年11月21日、12月23日

2日間で延べ30名の本学学生が参加し、スライドを使って日本文化や趣味を英語で紹介した。台湾からは中台科技大学の学生の他に、地元の高校生も参加し、台湾文化の紹介の他、歌を披露していただいた。また、本交流会のために新藤学長からは英語でビデオメッセージをいただいた。



特定非営利活動法人 J.J.N Social Contribution との共同事業

Empowering English Camp

実施日：EEC Spring 令和4年5月21日・22日

EEC Summer 令和4年8月20日・21日

EEC Winter 令和4年12月3日・4日

EEC Spring 令和5年3月11日・12日

令和3年度に始まった近隣市町在住の小学生向け英語イベントを、令和4年度は4回開催した。各回20名前後が参加し、カードゲームやスポーツなどを様々なアクティビティを通して英語を学んだ。夏はTシャツ染め、冬はクリスマス、春はイースターとそれぞれのシーズンならではのアクティビティも取り入れ、英会話の学習のみならず海外の文化も体験できるイベントとなった。また、毎回2日目には発表の場や保護者も参加できるゲーム形式の英会話バトルなどを実施し、参加児童のご家族もアクティビティを体験できるようにしている。



11 学位記授与式の実施

令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮をしつつコロナ禍以前に近づける形で、学位記授与式と式典後の卒業パーティーを令和5年3月10日に川越プリンスホテルにて執り行った。

今年度は、診療放射線学科 81 名、リハビリテーション学科理学療法学専攻 65 名、作業療法学専攻 29 名、看護学科 93 名、臨床工学科 41 名が卒業し、合計 309 名が巣立っていった。



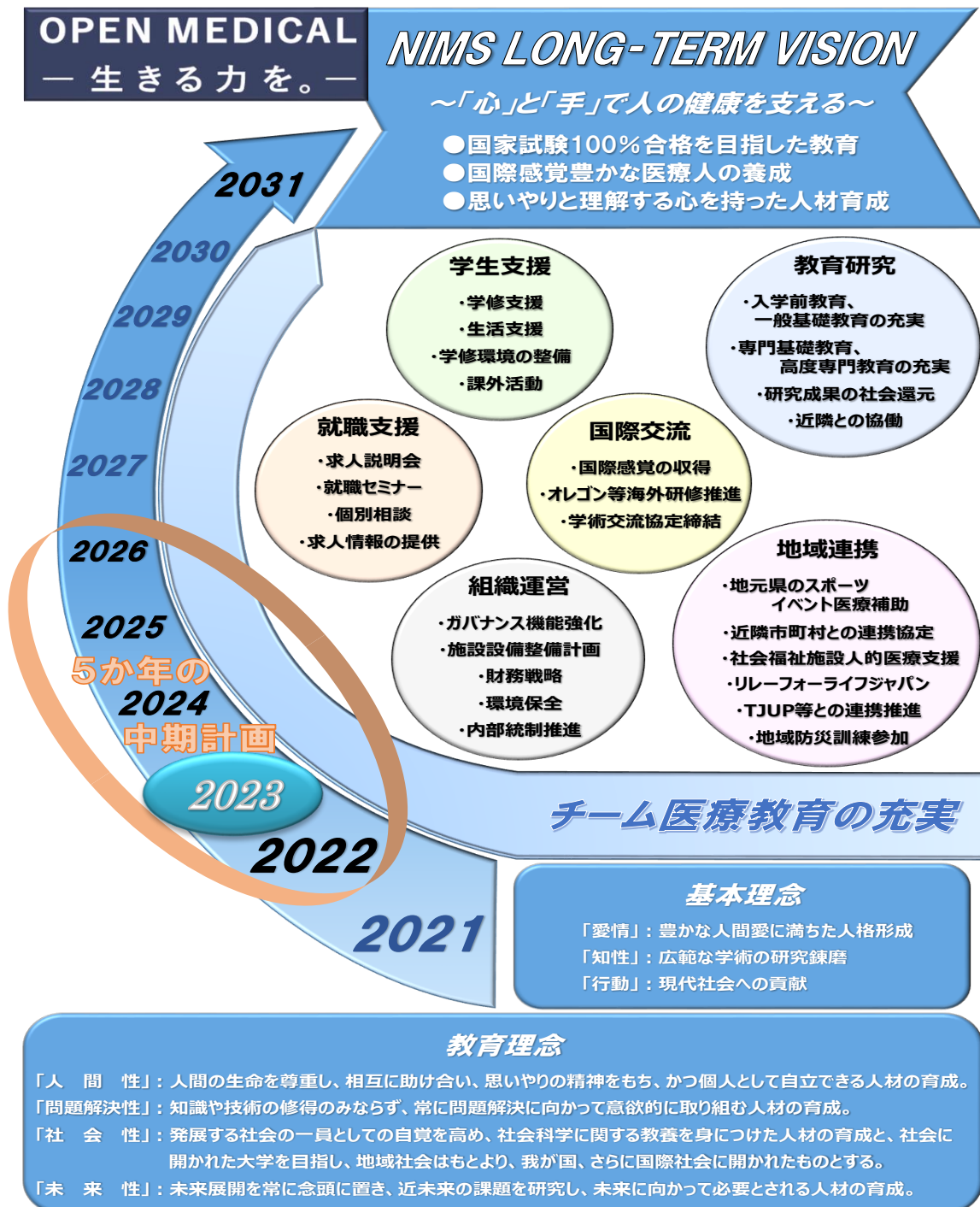
卒業パーティー



12 中期計画 “NIMS 2022 ”について（進捗状況）

2031年まで10年間の城西医療学園の“10年後のあるべき姿”長期ビジョン(*NIMS Long-term VISION*)を策定した。内容としては、医療業界に深く貢献できる自立人材育成の教育体制の整備と教育拠点の整備、トップクラスの教育維持のための財政基盤の確保と収支均衡の継続、ステークホルダーとのコミュニケーションの充実推進を目的とした地域貢献そして組織内部のコミュニケーションの推進と人材育成が掲げられ、個々の活動項目への落とし込み開始している。

更には、これらを具現化すべく本学の中期取り組みテーマ（教育改革、学生募集と学生支援、教学マネジメント、社会連携・社会貢献、国際交流）を策定と役割分担を明確化し実働を開始した。



4. 財務の概要 財務データの経年比較

1. 決算の概要

1) 貸借対照表関係

(1) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位：千円)

科目	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
資産の部						
固定資産		8,085,947	8,059,448	8,006,877	8,331,920	8,131,557
流動資産		1,796,666	2,289,399	2,410,127	1,959,172	2,389,123
資産の部合計		9,882,613	10,348,847	10,417,004	10,291,092	10,520,680
負債及び純資産の部						
固定負債		257,930	308,878	298,140	340,786	359,889
流動負債		595,062	570,355	662,221	289,114	371,395
負債の部合計		852,992	879,233	960,361	629,900	731,284
基本金		8,971,045	9,135,743	9,365,065	10,104,857	10,198,321
繰越収支差額		58,576	333,871	91,578	△ 443,665	△ 408,925
純資産の部合計		9,029,621	9,469,614	9,456,643	9,661,192	9,789,396
負債及び純資産の部合計		9,882,613	10,348,847	10,417,004	10,291,092	10,520,680

(2) 財務比率の経年比較

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
運用資産余裕比率 (運用資産-外部負債/経常支出)	236.53%	256.66%	149.61%	153.39%	147.93%
流動比率 (流動資産/流動負債)	301.93%	401.40%	363.95%	677.65%	643.28%
総負債比率 (総負債/総資産)	8.63%	8.50%	9.22%	6.12%	6.95%
前受金保有率 (現金預金/前受金)	436.50%	566.36%	1631.39%	1,353.87%	1,353.87%
基本金比率 (基本金/基本金要組入額)	99.98%	99.70%	96.86%	100.00%	100.92%
積立率 (運用資産/要積立額)	110.71%	115.51%	116.04%	98.65%	103.86%

資産の部の合計は、前年度末より126百万円減の10,291百万円となった。

内訳は、有形固定資産が213百万円減の6,466百万円、特定資産が343百万円増の641百万円、流動資産が451百万円減の1,959百万円である。

有形固定資産の減少は、建物や教育研究用機器備品の減価償却費が増加が固定資産の取得を上回ったのが主な要因である。特定資産の増加は、第2号基本金の積み立てが主な要因である。

負債の部の合計は、330百万円減の630百万円となった。

内訳は、固定負債が43百万円増の341百万円、流動負債が373百万円減の289百万円である。

また、基本金は10,105百万円、繰越収支差額は△444百万円となり、純資産の部の合計は、前年から205百万円増加の9,661百万円となった。

2) 資金収支計算書関係

(1) 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科 目	年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収 入 の 部						
学生生徒等納付金収入		2,191,883	2,230,039	2,216,176	2,352,342	2,534,615
手数料収入		37,655	38,700	37,422	35,639	35,987
寄付金収入		0	0	12,000	0	0
補助金収入		114,472	114,613	158,328	211,954	287,745
資産売却収入		230	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入		1,600	700	200	1,500	1,100
受取利息・配当金収入		3,379	10,559	10,981	9,715	16,426
雑収入		20,952	17,750	24,202	23,028	42,174
前受金収入		406,200	400,500	145,500	142,500	135,600
その他の収入		494,990	474,510	2,082,044	561,598	582,526
資金収入調整勘定		△ 377,488	△ 420,103	△ 425,670	△ 162,726	△ 183,294
前年度繰越支払資金		2,061,017	1,773,052	2,268,252	2,373,670	1,929,271
収入の部合計		4,954,890	4,640,320	6,529,435	5,549,220	5,382,150

(単位：千円)

科 目	年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
支 出 の 部						
人件費支出		1,136,918	1,169,638	1,281,238	1,340,594	1,476,481
教育研究経費支出		394,169	364,215	480,532	517,369	593,837
管理経費支出		114,796	133,992	167,526	165,838	342,677
施設関係支出		5,149	64,623	1,607,384	47,584	19,379
設備関係支出		57,638	61,505	454,507	97,994	68,900
資産運用支出		1,067,667	100,948	0	542,646	69,103
その他の支出		485,340	545,824	589,924	957,703	598,111
資金支出調整勘定		△ 79,839	△ 68,677	△ 425,346	△ 49,779	△ 125,001
翌年度繰越支払資金		1,773,052	2,268,252	2,373,670	1,929,271	2,338,663
支出の部合計		4,954,890	4,640,320	6,529,435	5,549,220	5,382,150

令和4年度は、臨床検査学科開設2年目となり、87名の学生が入学した。それに伴い学生納付金収入の増加、新規教員採用等による人件費の増加、教育研究経費の増加等が発生した。

資金収支における収入の部では、学生生徒等納付金収入が主となるが、入金総額は、3,453百万円となり、前年度繰越資金1,929百万円を含めた収入合計は5,382百万円となった。

支出の部では、施設関係支出19百万円、設備関係支出69百万円、資産運用支出69百万円を含め支出金額総額で3,043百万円となり、翌年度への繰越支払資金が2,339百万円となった。

(2) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科 目	年 度					
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
教育活動による資金収支						
教育活動資金収入計	2,366,562	2,401,802	2,437,329	2,624,463	2,901,621	
教育活動資金支出計	1,645,884	1,667,845	1,929,296	2,023,801	2,412,995	
差引	720,678	733,957	508,033	600,662	488,626	
調整勘定等	78,723	△ 12,063	△ 196,715	△ 68,877	38,338	
教育活動資金収支差額	799,401	721,894	311,318	531,785	526,964	
施設整備等活動による資金収支						
施設整備等活動資金収入計	230	0	1,561,000	0	0	
施設整備等活動資金支出計	112,787	176,128	2,061,891	445,578	138,279	
差引	△ 112,557	△ 176,128	△ 500,891	△ 445,578	△ 138,279	
調整勘定等	1,469	0	281,949	△ 303,891	3,892	
施設整備等活動資金収支差額	△ 111,088	△ 176,128	△ 218,942	△ 749,469	△ 134,387	
小計（教育活動資金収支差額+ 施設整備等活動資金収支差額）	688,313	545,766	92,376	△ 217,684	392,577	
その他の活動による資金収支						
その他の活動資金収入計	492,835	467,891	531,120	543,801	585,776	
その他の活動資金支出計	1,469,113	518,457	518,078	770,516	568,961	
差引	△ 976,278	△ 50,566	13,042	△ 226,715	16,815	
調整勘定等	0	0	0	0	0	
その他の活動資金収支差額	△ 976,278	△ 50,566	13,042	△ 226,715	16,815	
支払資金の増減額 （小計+その他の活動資金収支差額）	△ 287,965	495,200	105,418	△ 444,399	409,392	
前年度繰越支払資金	2,061,017	1,773,052	2,268,252	2,373,670	1,929,271	
翌年度繰越支払資金	1,773,052	2,268,252	2,373,670	1,929,271	2,338,663	

(3) 財務比率の経年比較

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育活動資金収支差額比率 （教育活動資金収支差額/教育活動資金収入）	33.78%	30.06%	12.77%	20.26%	18.16%

3) 事業活動収支計算書関係

(1) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科 目		年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	2,191,883	2,230,039	2,216,176	2,352,342	2,534,615
		手数料	37,655	38,700	37,423	35,639	35,987
		寄付金	0	0	1,000	0	0
		経常費等補助金	114,472	114,613	158,328	211,954	287,745
		付随事業収入	1,600	700	200	1,500	1,100
		雑収入	20,952	17,751	24,202	23,028	42,174
		教育活動収入計	2,366,562	2,401,803	2,437,329	2,624,463	2,901,621
	支事業の活動の部	人件費	1,124,431	1,220,586	1,270,500	1,383,240	1,495,585
		教育研究経費	631,499	603,412	723,074	865,199	939,904
		管理経費	127,897	148,371	178,708	181,189	359,256
教育活動支出計		1,883,827	1,972,369	2,172,282	2,429,628	2,794,745	
教育活動収支差額			482,735	429,434	265,047	194,835	106,876
教育活動外収支	収事業の活動の部	受取利息・配当金	3,379	10,559	10,981	9,715	16,426
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	3,379	10,559	10,981	9,715	16,426
	支事業の活動の部	借入金等利息	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0
教育活動外収支差額			3,379	10,559	10,981	9,715	16,426
経常収支差額			486,114	439,993	276,028	204,550	123,302
特別収支	収事業の活動の部	資産売却差額	230	0	0	0	0
		その他の特別収入	0	0	11,000	0	4,902
		特別収入計	230	0	11,000	0	4,902
	支事業の活動の部	資産処分差額等	0	0	300,000	0	0
		その他の特別支出	0	0	0	0	0
		特別支出計	0	0	300,000	0	0
特別収支差額			230	0	△ 289,000	0	4,902
基本金組入前当年度収支差額			486,344	439,993	△ 12,972	204,550	128,204
基本金組入額合計			△ 101,968	△ 164,698	△ 229,321	△ 739,792	△ 93,464
当年度収支差額			384,376	275,295	△ 242,293	△ 535,242	34,740
前年度繰越収支差額			△ 325,800	58,576	333,871	91,578	△ 443,664
翌年度繰越収支差額			58,576	333,871	91,578	△ 443,664	△ 408,924
(参考)							
事業活動収入計			2,370,171	2,412,362	2,459,310	2,634,178	2,922,949
事業活動支出計			1,883,827	1,972,369	2,472,282	2,429,628	2,794,745

(2) 財務比率の経年比較

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人件費比率 (人件費/経常収入)	47.45%	50.60%	51.89%	52.51%	51.25%
教育研究経費比率 (教育研究経費/経常収入)	26.65%	25.01%	29.53%	32.85%	32.21%
管理経費比率 (管理経費/経常収入)	5.40%	6.15%	7.30%	6.88%	12.31%
事業活動収支差額比率 (基本金組入前当年度収支差額/事業活動収入)	20.52%	18.24%	-0.53%	7.8%	4.39%
学生生徒等納付金比率 (学生生徒等納付金/経常収入)	92.49%	92.44%	90.52%	89.30%	86.86%
経常収支差額比率 (経常収支差額/経常収入)	20.51%	18.24%	11.27%	7.77%	4.23%

2. その他

1) 有価証券の状況

(単位：千円)

種類	貸借対照表計上額	時価	差額
債券	1,200,000	1,155,910	△ 44,090
合計	1,200,000	1,155,910	△ 44,090
時価のない有価証券	1,000	—	—
有価証券合計	1,201,000	—	—

2) 借入金の状況

該当なし

3) 学校債の状況

該当なし

4) 寄付金の状況

該当なし

5) 補助金の状況

(単位：千円)

種別等	事業名等	金額
国庫補助金	私立大学等経常費補助金	164,000
国庫補助金	高等教育修学支援事業補助金(※1)	83,755
いわき市	いわき市 寄附講座 補助金	37,980
埼玉県	コロナウイルス感染症緊急包括支援金	2,010
合計		287,745

※1 補助金と同額を奨学費として対象学生の授業料等との相殺処理を実施している。

6) 収益事業の状況

該当なし

7) 関連当事者との取引の状況

(1) 関連当事者

(単位：円)

役員・法人等の名称	資本金 (千円)	事業内容	取引内容	取引金額	期末残高
株式会社泰同(注1)	23,000	不動産賃貸業、ESCO事業	ESCOサービスの支払い	5,723,520	-
城西学園	-	私立高校経営	寄付金の支払い	150000000	-

(注1) 理事佐藤 知之及びその近親者が議決権の100%を直接保有している。

(2) 出資会社

(単位：円)

会社の名称	資本金 (千円)	出資割合	事業内容	取引金額
(株)日本医療科学	1,000	100%	損害保険業務他	保険料支払 1,969,161 仲介手数料支払 3,125,842 雑収入 1,692,378

8) 学校法人間財務取引

学校法人名	住所	取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高	関連当事者
城西学園	東京都豊島区	寄付金の支払い	150000000	-	-	○

3. 経営状況の分析等

日本私立学校振興・共済事業団が分析する経営判断指標は、学校法人の財務状況を経営状態が良好であると考えられる順から、①正常状態、②経営困難状態、③自力再生が極めて困難な状態の3つに分類している。

本法人は、①正常状態に属し、教育活動資金収支差額が3か年のうち2か年以上黒字であり、かつ、外部負債があっても10年以上資金繰りに問題が生ずる可能性がなく、更に経常収入から経常支出を控除した経常収支差額も黒字である。

黒字幅（経常収支差額比率）の水準は10%を下回っている。しかし、昨年度は運用資産が、本来保有すべき減価償却額累計額、退職給与引当金、第2号基本金の合計の数字よりも少ない状態（積立率が100%以上なし）だったが、今年度は積立率が100%を上回るように改善された。しかしながら、正常状態でも、上から3つ目のA3のレベルなので、将来はA2・A1を目指したい。

BO	A3	A2	A1
イエローゾーンの予備的段階	正常状態		

右側ほど、経営状態がよい

⑦ 監査報告書

監 査 報 告 書

令和 5年 5月23日

学校法人 城西医療学園

理 事 会 御中

評 議 員 会 御中

監事 中林正則 印

監事 鈴木文雄 印

私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人城西医療学園寄附行為第15条の規定に基づき、同学園の令和4年度(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)の業務及び財産の状況並びに理事の業務執行の状況について監査しました。

私たちは監査にあたり、理事会及び評議員会等に出席し、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人と連携し、計算書類について検討するなど、必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、学校法人城西医療学園の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表(固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む)並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、その収支及び財産の状況を正しく示しており、業務若しくは財産又は理事の業務執行に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。

以上